

状態別対応セミナー 中重度者編

～多職種を活かした関わりとは～



開催日：令和6年6月9日（日）
会場：オンライン開催
参加者数：9名

研修認定委員会より

令和5年度より、状態別対応セミナー中重度者編を開催しています。研修会の内容は、「中重度者の通所リハビリテーション求められる機能とは何か」、中重度者におけるケアマネジメントについて、「実践報告」となっています。なお、実践報告はセラピスト、看護師、介護福祉士それぞれの視点で報告をして頂きます。通所リハビリテーションは、医師を含め多職種で対応できることが強みであり、改めまして多職種による関りを皆様で議論し、中重度者への支援へ繋げて頂ければと思い企画しています。また、当日は更に、参加者の日頃の悩みを解決できるグループワークも企画しています。ご参加をお待ちしております。

状態別対応
セミナー
中重度者編

～多職種を活かした関わりとは～

中重度者の通所リハビリテーションに求められる機能とは何か
中重度者におけるケアマネジメントについて
中重度者への具体的な実践事例／多職種による視点／
中重度者への受け入れに向けた課題と具体的な
対策の検討

2024.06.09 SUN 09:30
16:20

【開催方法】 オンライン開催	【受講費】 〈本セミナーのみ〉
【定員】 50 名（定員になり次第締め切り）	会員：5,000円（税込） 非会員：10,000円（税込）
【申込方法】 QRコード、または協会HPよりお申し込み ください。※詳細は裏面参照	〈本セミナー＋介護予防編※〉 ※介護予防編とのセット割¥1,000円引き！
【お問合せ】 E-mail kenshu@day-care.jp	会員：9,000円（税込） 非会員：19,000円（税込）

一般社団法人 全国デイ・ケア協会

介護度別の利用実態

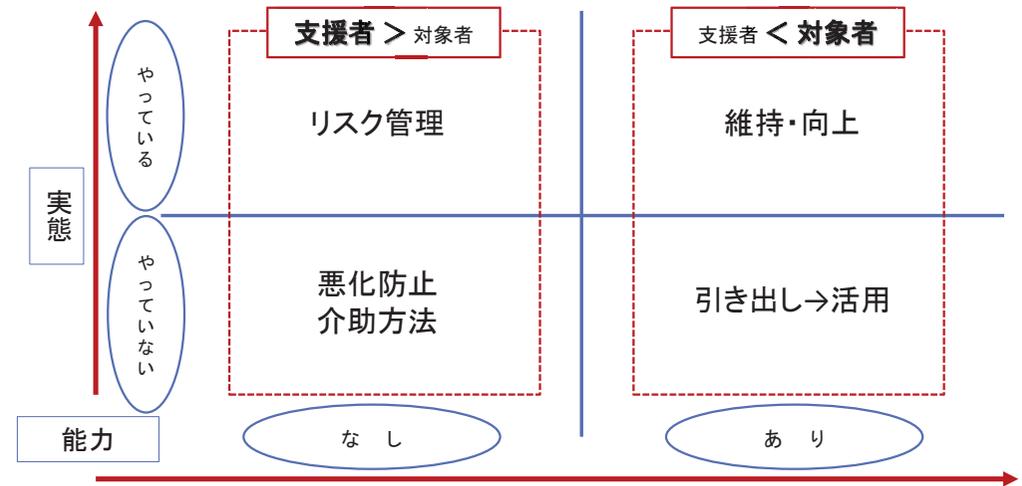


請求事業所数：7,978 施設 利用者数：606,600 人
 平均介護度：1.71(通所リハ) / 2.05(居宅サービス利用者)

データ：介護給付費実態統計 R5年11月審査分

26

ケースのカテゴリー化



状態別対応セミナー 中重度者編
 2024年6月9日(日)

実践報告

中重度者への具体的な実践事例

～多職種による視点～

医療法人真正会 デイリビング
 看護師：須永亜矢子
 介護福祉士：河田美紀
 理学療法士：佐藤大志

※写真に関しては承諾が得られた方は顔を出しています



多職種で関わる事の重要性

例えば…

「利用者の排泄について何を評価するか(考えるか)」
 という問いに対して、各専門職の中で多かった回答は…

NS : 便の硬さ、尿の濃さ 排尿の時間間隔

CW : おむつやパットの種類がその人に合っているかどうか

リハ : 便座への移乗、下衣操作、後処理などの作業工程